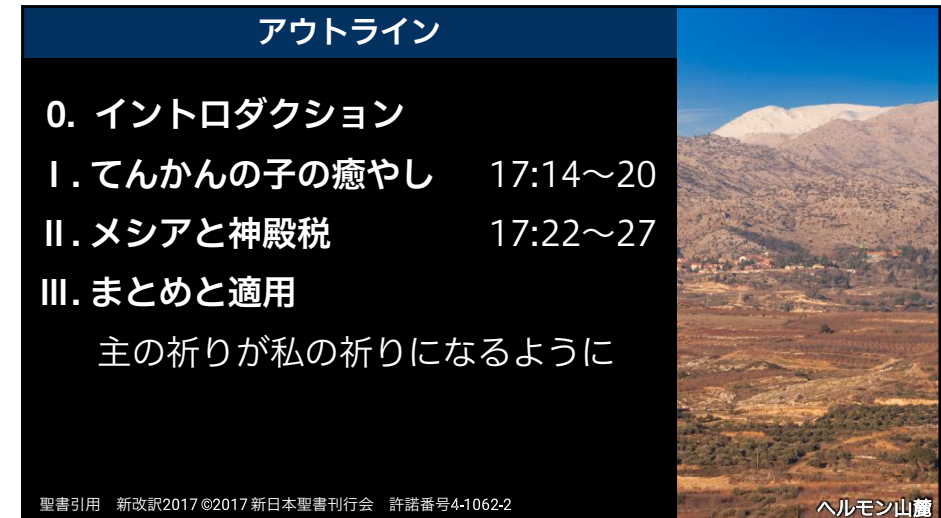




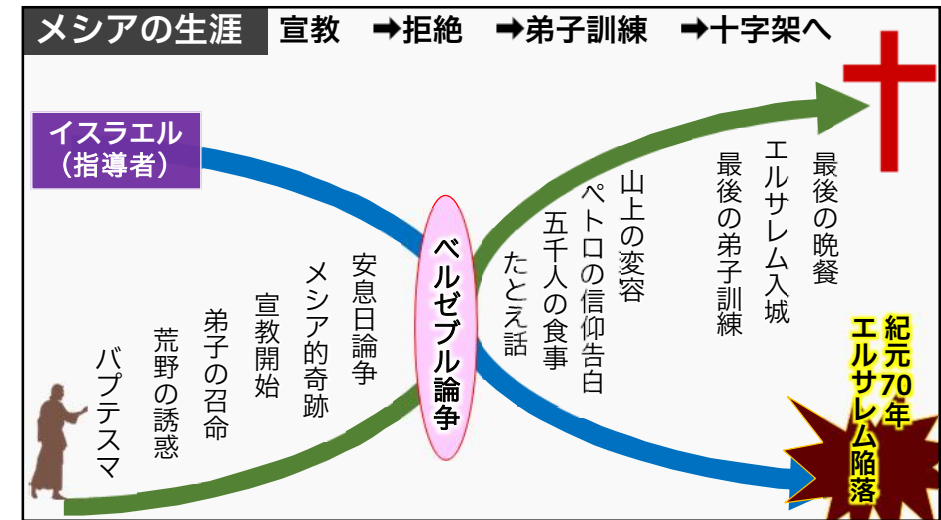
11



12



13



14

メシアの活動は、弟子訓練に移行!!

- 主イエスは、**教会**の礎を築き始められている
→訓練された使徒たちが、**教会**の土台に!!
- 教えと奇跡も、弟子たちの訓練のために実行。
- 命を狙われ、イエスは各地を巡りつつ教えられた。
→**弟子訓練もいよいよ終盤に!!**

メシアが選んだ十二弟子は、イスラエル代表

15

歴史的信仰告白 山上での変容 を経て

- ①「あなたは生ける神の子キリストです」
→聖霊による、ペテロの歴史的信仰告白
- ②最初の十字架の死と復活の受難の予告
→**無理解**なペテロへ、「さがれ、サタン」
- ③山上でのイエスの変容・栄光の顕現
→間近に迫るのは**受難**。際立つ**弟子の無理解**。

メインテーマ：メシアの受難

裏テーマ：弟子の無理解

16



Ⅰ. てんかんの子の癒やし

マタイ福音書17:14~20

ゴラン高原とヘルモン山

17

本編 麓で マタイ17:14

彼らが群衆のところに行くと、一人の人がイエスに近寄って来て御前にひざまずき、こう言った。

「さて、彼らがほかの弟子たちのところに戻ると、大勢の群衆がその弟子たちを囲んで、**律法学者たち**が彼らと論じ合っているのが見えた。マルコ9:14」

- イエス不在の間に、**律法学者**が、癒やせない弟子たちをなじっていた。



下界で貶められる
メシアの権威

ヘルモン山麓

18

本編 てんかん マタイ17:15

「主よ、私の息子をあわれんでください。
てんかんで、たいへん苦しんでいます。
何度も火の中*に倒れ、また何度も水の中*に倒れました。」

＊苦難の極み …最も困難な裁きも

「先生。口をきけなくする霊*につかれた私の息子を、あなたのところに連れて来ました。マルコ9:17」

＊最も困難…悪霊の名を聞き出せない

■症状はてんかん。原因は悪霊。



イスラエルの
苦難を象徴

ヘルモン山麓

19

本編 弟子たちの失敗 マタイ17:16

そこで、息子をあなたのお弟子たちのところに連れて来たのですが、治すことができませんでした*。」

＊十二弟子は、悪霊を追い出す権利をイエスに与えられていた。

「悪霊どもを追い出しなさい(10:8)」

■与えられていたのにできないのが問題。

不信仰ゆえに主の権威を示せないイスラエル



北部の山地

20

本編 神の忍耐 マタイ17:17

イエスは答えられた。「ああ、不信仰な曲がった時代だ。いつまであなたがたと一緒にいなければならないのか。いつまであなたがたに我慢しなければならないのか*。その子をわたしのところに連れて来なさい」

＊不信仰のイスラエル 申命記 32:5

「自分の汚れで主との交わりを損なう、主の子らではない、よこしまで曲がった世代」

■不信仰なイスラエルを忍耐し続けた、

神の視点で語られるイエス。



北部の山地

21

本編 てんかんの子の癒やし 17:18

そして、イエスがその子をお叱りになると悪霊は出て行き、すぐにその子は癒やされた。

■口をきけなくする悪霊の追い出し。

➡最難度のメシア的奇跡を簡単に。

■父親の信仰ゆえの癒やし マルコ9:24

「信じます。不信仰な私をお助けください」



北部の山地

22

本編 弟子たちの質問 マタイ17:19

それから、弟子たちは**そっと***イエスのもとに来て言った。「なぜ私たちは悪霊を追い出せなかったのですか。」

*恥じ入っている弟子たち

➡以前にはできたのに、なぜ？

■最初の派遣の時にはあった主への信頼

➡成長していない

イエスの歩みについていけない
むしろ受難を理解することを拒絶



北部の山地

23

本編 信仰の力 マタイ17:20

イエスは言われた。「あなたがたの信仰が薄いからです。まことに、あなたがたに言います。もし、からし種ほどの信仰があるなら、この山に『ここからあそこに移れ』と言えは移ります。あなたがたにできないことは何もありません。」

■主の御心を自分の心とするのが、信仰。

➡御心に適った願いは、必ず実現する

■祈りで求められるのは熱心さではない。

➡主の御心と一致する正確さ

熱心さでなく
正確さ

正しく祈れば
必ず適う!!



からし種

24

本編 祈りと断食 マタイ17:21

「ただし、この種のものは、祈りと断食によらなければ出て行きません」

*17:21は、後代の写本に付加。

…後の時代に付け加えられた？

■断食とは、食に関する時間すら、祈りに割くこと。

■断食を伴う祈りとは、全身全霊で御心を聞き取ろうとすること。



ヘルモン山麓

25



Ⅱ. メシアと神殿税

マタイ福音書17:22～27

ガリラヤ湖

26

本編 二度目の受難予告 17:22～23

彼らがガリラヤに集まっていたとき、イエスは言われた。「人の子は、人々の手に渡されようとしています。」

人の子は彼らに殺されるが、三日目に よみがえります。」すると彼らはたいへん悲しんだ。

「しかし、弟子たちにはこのことが理解できなかった。また、イエスに尋ねるのを恐れていた。
マルコ9:32」

■ 久々のガリラヤでの、二度目の受難予告
→ 無理解なままの弟子たち 学んでない!!



ガリラヤ湖

27

本編 カペナウムで マタイ17:24

彼らがカペナウムに着いたとき、**神殿税***を集める人たちがペテロのところへ近寄って来て言った。「あなたがたの先生は神殿税を納めないのですか。」

＊律法の登録税(出30章)が起源?!

…登録税(1/2シェケル)。幕屋建設費に。

…捕囚後は、神殿税(1/3シェケル)
(ネヘミヤ10:32)

…この時代、1/2シェケル



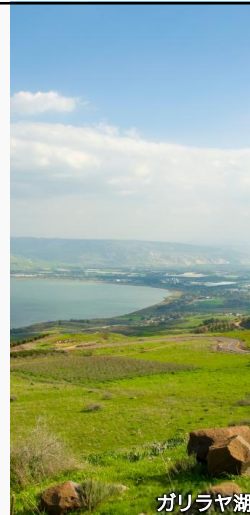
28

本編 納税の義務 マタイ17:25～26

彼は「納めます」と言った。そして家に入ると、イエスのほうから先にこう言われた。「シモン、あなたはどう思いますか。**地上の王たち***はだれから税や貢ぎ物を取りますか。**自分の子たち***からですか、それとも、ほかの人たちからですか」ペテロが「ほかの人たちからです」と言うと、イエスは言われた。「ですから、子たちにはその義務がないのです*。」

＊ローマ皇帝

＊ローマ市民は、ユダヤの神殿税の納付義務なし



ガリラヤ湖

29

本編 イエスの命令 マタイ17:27

しかし、あの人たちをつまずかせないために、湖に行って釣り糸を垂れ、最初に釣れた魚を取りなさい。その口を開けると**スタテル銀貨一枚***が見つかります。それを取って、わたしとあなたの分として納めなさい。」

＊ユダヤ銀貨で1シェケル(神殿税2人分)
1スタテル=4デナリ(日給4日分)

■ 神の国の民である神の子と子たちには、本来、地上の権威への納税義務はない。

→ つまずかせない。権威への従順



神の権威は
神の方法で示される

ガリラヤ湖

30



Ⅲ. まとめと適用 主の祈りが私の祈りになるように

ガリラヤ湖

31

文脈で確認 てんかんの子の癒やし

- ①メシアは悪霊追い出しの権威を十二弟子に与えていた。
→最初の派遣の時(マタイ10:8)
- ②メシアは不在でも、癒やしはできるはずだった。
→信仰を試されていた留守番組
- ③弟子たちは癒やせなかった。
→原因は**不信仰** →**受難予告の拒絶**が信仰の後退に

32

なぜ受難が受け入れられなかった？

- 弟子たちの願いと違いすぎた!!
→弟子たちが待望していたのは、王なるメシア
- 御言葉よりも、自分の願望、感情が第一に!!
- 私たちは？ 取り次がれる御言葉をどう受け取ってる？
「厳しい」「難しい」 →自分の感情で判断していないか？
自分の主張を、正確に御言葉から裏付けできる？

33

弟子たちは何を拒絶していた？

- ①敬愛するイエスの苦しみ
→「そんなことが」 想像もしたくない師の苦しみ。
- ②人の罪の重さ
→罪なき御子を犠牲にするしかないほど
- ③神の怒りの厳しさ、激しさ
→御子を十字架で死なせなければならないほど

34

私たちが心を閉ざすとき

- 「受け入れられない」 → 極まって拒絶に至る私たち
→ 拒絶されて、拒絶に至る
- 本当は、拒絶しているのは私ではないか？
→ 自分のお心に合わない、主の御心を拒絶している
- 御言葉の解き明かし。第一に求められるのは、正確さ。
→ 人間的な配慮は、神の意図を歪めかねない
→ 骨抜きの説教。聴衆への忖度に慣れきってないか？

35

からし種一つほどの信仰があれば…

- 熱心に祈れば願いは叶う？ **間違い**
…毒麦の種からは、毒麦しか実らない
- 大切なのは、御心に適った正確さ
→ 御心と一致した祈りは、必ず適う
- サタンの巨大な地上の権威の滅びを願うなら？
→ 主の日には山も揺れ動く。栄光の主が滅ぼされる。

36

受難のメシアは受け入れた その次は？

- 弟子たちが拒んだ**受難のメシア**を私たちは受け入れた。
→ 十字架の死と復活の結末を知らされて
(圧倒的なアドバンテージ)
→ 誇れはしない。主の恵みのゆえ。

では、私たちは
再臨のメシアをどれほど受け入れているのか？

37

裁き主なる再臨のメシア

- 義をもって裁き 戦われるイエス 黙示録19:12~15
その目は燃える炎のようであり、その頭には多くの王冠があり、ご自分のほかはだれも知らない名が記されていた。その方は**血に染まった衣**をまとい、その名は「神のことば」と呼ばれていた。天の軍勢は白くきよい亜麻布を着て、白い馬に乗って彼に従っていた。
この方の口からは、諸国の民を打つために**鋭い剣**が出ていた。**鉄の杖で彼らを牧する**のは、この方である。また、全能者なる**神の激しい憤りのぶどうの踏み場を踏まれる**のは、この方である。

38

★ 主の祈りを私の祈りに ★

■ 受難を経て贖罪を成し遂げられた主イエスは、
王の王、主の主なる裁き主として再び来られる。
全地を裁き、永遠の滅びと永遠の救いをもたらされる。

■ 私たちは再臨のメシアを受け入れているだろうか。
主の愛と共に、義と厳しさを受け入れているだろうか。
御前に立つ時が、信仰の報いを得る時となるように、
柔和にへりくだって、主の御心に聞き従っていこう。

御心を聴き、主の約束の実現をこそ祈り求めよう!!

てん とう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。
わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、
わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、
はか ほうむ
②墓に葬られ、
みつかめ ふっかつ
③三日目に復活されたこと、を信じます。
わたし ふくいん う い えいえん いのち え
私たちは、福音を受け入れて、永遠の命を得ました。
みくに ほうしゅう え みこころ き したが あゆ
御国の報酬を得られるように、御心に聞き従って歩みます。
しゅ いの わたし いの わたし つか
主の祈りが私の祈りとなりますように。私を遣わしてください。
かんしゃ しゅ な いの
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」